

週間漁海況情報—第 25 号

平成 27 年 6 月 30 日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

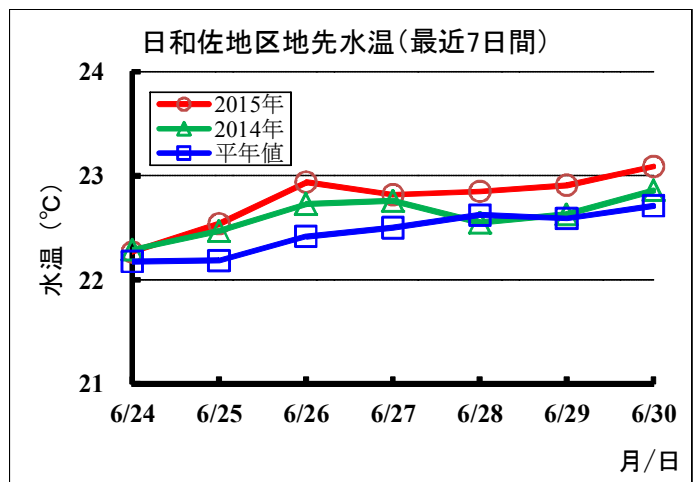
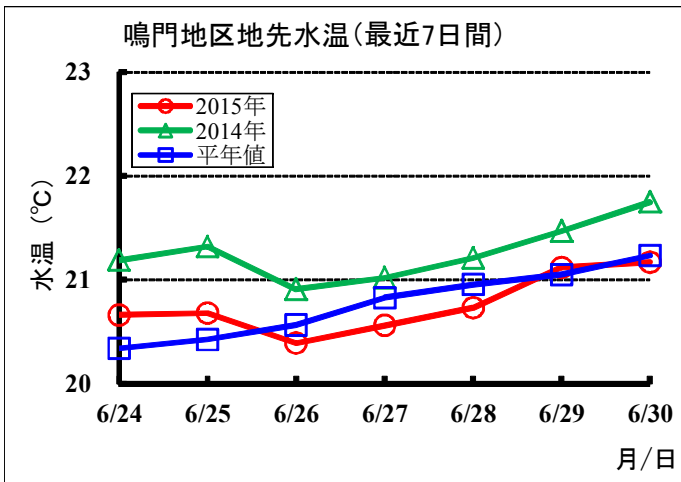
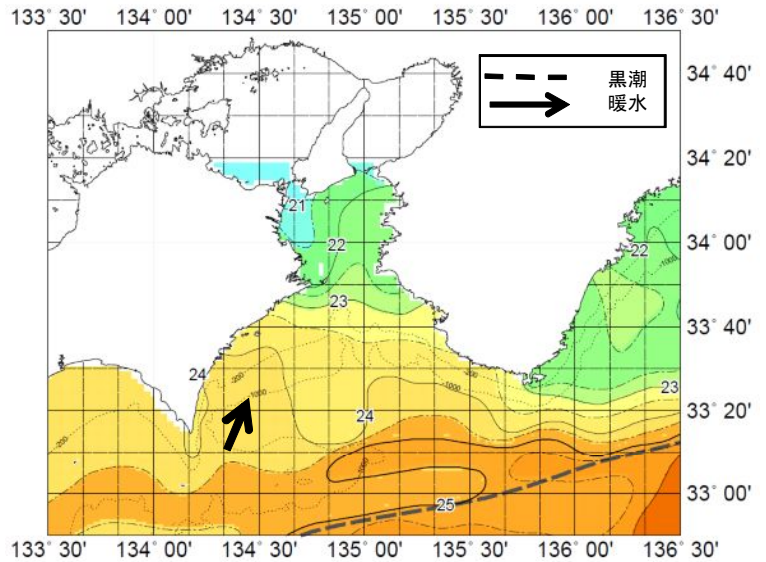
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図 (H27. 6. 30) を示した。

黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は 25℃ 台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で 20 ~ 21℃ 台、紀伊水道では 20 ~ 22℃ 台、海部沿岸は 21 ~ 24℃ 台である。紀伊水道外域では室戸岬沖からの暖水流入が見られる。



地先水温: 最近 7 日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の 20.4 ~ 21.2℃、日和佐地区は「平年並み」~「やや高め」の 22.3 ~ 23.1℃、牟岐地区は「平年並み」~「やや高め」の 22.7 ~ 23.9℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並: ±0.49 以下, やや高め (やや低め): ±0.50 ~ 1.49, 高め (低め): ±1.50 ~ 2.49, かなり高め (かなり低め): ±2.50 以上

* 平年値 鳴門地区: 1981 ~ 2010 年の平均値、日和佐地区: 1982 ~ 2010 年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でアカムツが1.1トン（1日1隻あたり23kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でウルメイワシが0.3トン（同14kg）、小主体にマアジが0.3トン（同9kg）、小小主体にかます類が0.3トン（同13kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でマイワシ主体にいわし類が3.7トン（同528kg）、大主体にマアジが2.8トン（同400kg）、小主体にマルアジが0.7トン（同104kg）、小小主体にアカカマスが0.3トン（同47kg）、マルソウダが0.2トン（同29kg）、イサキが0.4トン（同52kg）、小主体にシイラが1.3トン（同183kg）、大・中主体にカマスサワラが0.6トン（同86kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが37.5トン（同313kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年6月22日～2015年6月28日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	48	1,098	23	
小型定置網		ウルメイワシ	20	283	14	
		マアジ	29	264	9	小主体
		かます類	24	323	13	小小主体
		いわし類	7	3,699	528	マイワシ主体
大型定置網		マアジ	7	2,800	400	大主体
		マルアジ	7	729	104	小主体
		アカカマス	7	332	47	小小主体
		マルソウダ	7	201	29	
		イサキ	7	364	52	
		シイラ	7	1,279	183	小主体
		カマスサワラ	7	604	86	大・中主体
パッチ網		紀伊水道	シラス	120	37,500	313

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の6月23日～6月29日には、海部沿岸では、延縄で小主体にアカムツが0.8トン、大型定置網でいわし類が7.8トン、小主体にサバ類が0.6トン、マルソウダが0.7トン、シイラが6.6トン、イサキが0.6トン、小主体にケンサキイカが0.3トン、紀伊水道では、釣りで大主体にタチウオが0.3トン、パッチ網でシラスが13.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「かなり離岸」、潮岬沖において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の21℃台、日和佐地先で「平年並み」の23℃台で推移する見込み。